



Washington Japanese Language School

ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>



2019年 4月 20日発行 第3号

ワシントン日本語学校
校長 森 宏 介

[ワシントン日本語学校事務局]
HOT LINE (301)962-7415
TEL (301)962-7410
FAX (301)962-7411

平成 31 年度入学式

- 4月14日、平成31（2019）年度の入園・入学式を行いました。在アメリカ合衆国日本国大使館特命全権公使、相川一俊様をはじめ10名のご来賓や保護者の皆様に見守られ会場入りした幼稚部44名、小学部79名の児童は厳粛な雰囲気にとまどいながらも、皆、明るい表情で式に参加していました。
- 私は式典の中で、
 - ①日本語をたくさんお話ししましょう！
 - ②休まずに元気で登校しましょう！
 - ③お友達と仲良くしましょう！と話しましたが、ご家庭でも日常的に日本語を使うなど、お子様の言語環境にご配慮するとともに、お子様の健康やよりよい人間関係づくりにかかるサポートをお願い致します。
- また、子ども達のよりよい成長のためには、学校と家庭が信頼関係で結ばれることが必要です。お気づきの点や困ったことなど、遠慮なく学校にご相談下さい。

エピペン講習会を実施

- 14日の放課後、教職員を対象にした研修を実施しました。全教職員が、食物アレルギーなどによるアナフィラキシー・ショックに陥った児童・生徒に対し、適切な処置を講じることができるようになるためのものです。
- 講師を務めてくださったのは、小児科医であり現在、ジョーンズ・ホプキンス大学大学院で学ばれている西田俊彦先生（本校保護者）です。
- 講習会では、アナフィラキシー・ショックの状態に陥った例を紹介していただきながら、具体的な症状とその際に対処法を具体的にご教示していただきました。
- 最後に、エピペンの練習器具を使う実技研修も行いました。

学校では、今後とも不測の事態に適切に対応できるよう努力を重ねていく所存です。



校長式辞



担任紹介



4年生による合唱「ふじ山」「ワシントン日本語学校校歌」



さくらまつり

○4月13日（土）「2019年度ワシントンさくらまつり」が、ペンシルベニア・アベニューのイベント会場で、盛大に開催されました。本校からは今年も中学3年生が学校代表として、また、高校生が自主的に日米協会のボランティアとして参加しました。

○中学生は、授業で取り組んできた「日本親善大使プロジェクト」の一環として、日本の姿を「地理」「歴史」「伝統文化」「大衆文化」「統計」の各テーマに沿って日本語と英語で発表。展示物としてワシントン日本語学校の様子分かるパネルも用意されていました。

○けん玉で遊ぶコーナー、漢字やひらがなで名前を書くコーナー、箸を使って物を移動させることを体験するコーナー等、日本文化に触れる場も用意されていたため、日本語学校のブースは終日大賑わいでした。

○ワシントン最大の日本人コミュニティである日本語学校の参加は、学校の存在をアピールする絶好の機会であるとともに、生徒にとっては、地域に貢献するチャンスであると言えます。この経験が、日本と世界の架け橋になる人材に成長するステップになることを期待してやみません。

○天候にも恵まれ、事故なく無事に終了出来ましたのも保護者の皆様、保護者サポーターの皆様、そして運営委員会の皆様のご協力の賜と感謝いたします。誠にありがとうございました。

学校支援ボランティアが始動

本年度も、「学校支援ボランティア」が活動を開始しました。この制度は、前任の佐藤校長が発案し実施を決めたもので、「何かの形でワシントン日本語に尽くしたい」と考える卒業生に学校運営や児童・生徒の支援を通して、貢献してもらおうとするものです。

活動初日となった14日には、3名の登録ボランティアに入学式の準備を手伝ってもらいました。参加してくれた皆さん、ありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

ご協力に感謝します

年度当初のこの時期、事務局スタッフは、様々な業務に追われています。日本から送られてくるドリル等の副教材の仕分けもそのひとつ。児童・生徒700人規模の学校だけに大変です。4月12日、19日に行った作業には、保護者のボランティアにお手伝いいただきました。おかげさまで子ども達の教材を届けることができました。心よりお礼申し上げます。

これからもよろしくお願いします



大人気！ 箸を使ってのゲームコーナー



日米両言語を駆使したプレゼンテーション



こちらも大人気！ 漢字・ひらがなコーナー